

「不妊には男性側に問題がある場合や男女双方の場合もある」という張院長に、今回、女性側の問題に対する不妊治療について話を聞いた。

——女性の不妊症について考えを聞かせてください。

まず、現代の医療技術は素晴らしい発達しております。ですから、はじめは西洋医学による原因検索をされたほうが良いと思います。そこで明らかでない病的異常がなかった場合、東洋医学的に考えると、そのほとん

どの原因は血行障害（冷え症）だといつていいでしょう。子宮

や卵巣の血流が悪くなると、酸素や栄養がもらいにくくなるから卵巣は元気な卵子をつくりづらくなるし、子宮の栄養状態も悪くなるので、受精できたとしても受精卵が子宮にうまく着床しにくくなる恐れがあるのです。

——治療の内容は？

漢方の考えでは、妊娠させるというより、妊娠しやすい体

不妊治療に漢方薬という選択肢

漢方治療で約50年の歴史を誇る診療所の院長が
女性の血行障害（冷え症）が原因の不妊治療を語る

TSD 天心堂漢方ビル 天心堂診療所 張 珉碩院長

ちよう・たみひろ ●神奈川県生まれ。1999年、獨協医科大学卒業。研修医を経て2001年、獨協医科大学越谷病院麻酔科入局。新診療所開院を機に退職し、天心堂の3代目を継承

シリーズ Medical Selection

構成／秋山晴康 撮影／小川拓洋

——不妊治療で、気をつけなければいけないことは？

治療内容につながる話ですが、東洋医学では、女性にとって妊娠は「ゴール」ではなく「スタート」と考えています。スタートラインに立てるように、血行の改善を図るのです。不妊で妊娠を希望される方の方などが、早く結果を得たいと思っておられることでしょう。しかし、母体の準備ができていない状態で妊娠することは、実は非常に危険なことなのです。前述のような、いわゆる「妊娠しにくい血行状態」で妊娠させようとしたとき、せっかく受精・着床しても子宮の血流が悪いと妊娠そのものが継続できなかつたり、重度のつわりや妊娠中毒症になったりする恐



生命力に満ちた鹿の角「鹿茸」を用いて煎じ薬にする

洋医学では実年齢ではなく、その方の「血行状態」や「体力」などを診て総合的に判断いたします。まず、漢方薬で体質改善させた後、不妊治療を受けられたほうが、



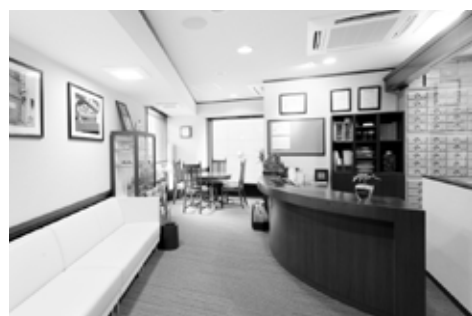
デリケートな話は個室の診察室で。「悩みを打ち明けていただくと、いい結果が生まれる方が多いです。私を信じてください」と張院長

れがあると考えます。

私は確実に安全な出産ができると思います。つまり、西洋医学と東洋医学の「良い所取り」をすべきです。診察・相談は無料ですから、不妊で悩まれたら、ぜひいらしてください。時間をかけてお話を伺います。

——最後に、患者さんに向けてのメッセージを。

重ねてお話ししますが、患者様には、決してあせらないでくださいといいたいです。東



「患者様にリラックスしていただきたい」というこだわりが、落ち着いた雰囲気、気の待合室にも表れている。鳥のさえずりがBGMで流れ、一見、病院とは感じられない



TSD 天心堂漢方ビル
天心堂診療所

■漢方内科、ペインクリニック内科
診療時間：平日・土 11:00～18:00
休 診 日：水・日・祝
〒110-0005 東京都台東区上野 7-3-2
TSD 天心堂漢方ビル 7階 (JR 上野駅駅前)
TEL.03-5827-1198
http://www.tenshindo.jp

天心堂漢方

検索

（診療案内）
自由診療で投薬料は1包3000円
（1週間約2000円～7000円）
予約優先。初診時は問診に1時間位かかります。